

住民こそ主人公・住民のための市政を

# 明日の相模湖

No. 861

2021年1月10日

発行：日本共産党相模湖支部

住所：相模原市緑区寸沢風794

宮崎あき子気付

電話：042(685)1046

mail: jcpsagami@gmail.com

## 危機から希望へ転換する年に

新型コロナウイルスの感染拡大の中で、2021年が幕開けしました。

感染が広がる中で、非正規労働者は職を失い、自営業者は経営困難に直面し、医療・介護現場は崩壊寸前です。今年、総選挙が行われる年です。

「苦難や危機をもたらす政治から希望の政治へ」。多くの国民が望んでいる政治へ切り替えましょう。

## コロナ危機は「人災」

コロナ危機は、日本社会のゆがみをさまざまな分野で浮き彫りにしました。医療崩壊の危機が一気に進んだのは、日常的に余裕のないギリギリの医療体

## 謹賀新年

新型コロナウイルスによる感染拡大は世界中に広がり、収まるどころか急速に拡大していますが、お変わりなく新年を迎えられたでしょうか。今年は一日も早く感染拡大をストップさせ、マスクをしなくてもよいような日常生活を取り戻したいですね。

希望をもてる社会、暮らしやすい地域をめざし、今年もみなさんといっしょに力を尽くしていきたいと思えます。引き続きご支援ご協力をよろしくお願い致します。

2021年1月

日本共産党相模湖支部



制が続いていたためでした。PCRなど必要な検査が迅速に大規模にできなかったことは保健所体制の弱体化が進められたことによるものです。いずれも自民党政治の下で長年続けられた社会保障の切り捨て政策がもたらした重大な弊害です。

もともと感染症にもろかったところに、安倍前政権と菅政権による混乱と迷走がコロナ危機の深刻化に拍車をかけました。感染者の出ていない学校も一斉に休校させたり、「アベノマスク」配布などは国民の不信と怒りを買いました。さらに菅政権が感染を全国に広げる「Go To Travel」に固執し続けたことは、まさに「人災」に他な

りません。医療・検査で国が財政的責任を果たし、暮らしの土台を支える大胆な対策を急ぐべきです。

## 野党連合政権の実現を

行き詰まる政治と対照的なのは、国民が声を上げ政治を前に進める動きが目覚ましく進展したことです。国民1人10万円の定額給付金は、当初の与党のあまりに不十分な案を世論が覆したものです。雇用調整助成金のコロナ特例、持続化給付金、家賃支援給付金なども国民の声で実現したものです。

コロナ後の日本は、危機で明らかになった社会の欠陥をただす道に進むことが必要です。今の政治の枠組みでは対応不能なのは明白です。自公政権に代わる新しい政権に市民と力を合わせた野党連合政権が切実に求められます。

来たるべき総選挙で、政権交代を実現し、新しい日本の扉を開けようではありませんか。





2021.01 元旦 06.51  
津久井城山



# ホソバカナワラビ (細葉金蕨)

オシダ科

今年の元日も例年通り0時に与瀬神社へ歩いて初詣に行き、5時には津久井湖に移動して、津久井城山で初日ノ出を見ることができました。暗い山道でヘッドランプを照らされ、葉が光って見えたのがシダのホソバカナワラビです。このシダはわりと乾いた林に生え、葉が黒っぽい緑をして厚みもあり、艶があります。一番下の葉の内側の羽片が大きいが、似た種類との区別点です。

今年も素晴らしい初日ノ出を拝み、コロナの退散を祈り、元日から一万歩歩きました。城山でもナラ枯れ病のコナラの大木が何本も見られました。

## 時事通信社が選んだ2020年10大ニュース

【国内】

第1位	新型コロナ猛威、初の緊急事態宣言
第2位	東京五輪、1年延期
第3位	安倍首相が退陣、後任に菅義偉氏
第4位	九州で豪雨、死者多数
第5位	参院選買収事件で河井元法相夫妻逮捕
第6位	将棋の藤井聡太さん最年少二冠
第7位	漫画「鬼滅の刃」大ヒット
第8位	コロナ対応で混乱
第9位	広がる「新しい日常」
第10位	元日産会長カルロス・ゴーン被告逃亡

【海外】

第1位	新型コロナでパンデミック宣言
第2位	米大統領選でバイデン氏勝利
第3位	香港統制を強める中国
第4位	英国がEU離脱
第5位	全米で人種差別抗議デモ
第6位	RCEP(地域的な包括的経済連携)協定に署名
第7位	核兵器禁止条約発効へ
第8位	イスラエルとアラブ諸国が国交正常化
第9位	強まる米国の巨大IT企業規制論
第10位	民間初の有人宇宙船

時事通信社が選んだ2020年の10大ニュースです。国内、海外の第1位はやはり新型コロナウイルスに関する出来事です。みなさんの10大ニュースは何だったのでしょうか。今年はコロナ収束がニュースになるといいですね。